

令和4年度

高森町一般会計当初予算概要書

【別紙】

マイナンバーカード取得促進事業

- マイナンバーカード取得者に現金5,000円を給付します。

【事業の目的】

地域経済の活性化とマイナンバーカードの普及のため、**マイナンバーカードを取得した方を対象に5,000円を現金給付**します。

【対象者】

①既にマイナンバーカードを取得済みの方

(令和3年12月1日現在で住民基本台帳に登録がある方。転入者も対象。)

②これからマイナンバーカード作成を申請し、 令和4年12月31日までに交付を受ける方

【給付方法】

指定口座へ振込み

【補助事業】

国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用予定。

※本事業はR3に実施した同事業の期限を延長するものです。



高森町地域おこし協力隊/のびやか梢

事業費	補助額	町の負担
825万円	825万円	0円

農業経営収入保険加入促進事業補助金

- 新型コロナウイルス感染症の影響や、価格低下等による収入減少に対応できる収入保険制度への加入を促進します。

【現状と課題、事業の目的】

今後も新型コロナウイルス感染症や病害虫、鳥獣害、市場価格の低下の影響など、農業者の収入が減少することが懸念される中、農業の様々なリスクによる収入減少に対応できる収入保険制度への加入促進の取組みを行い、経営安定や生産の維持・拡大を図る。

【対象者】

青色申告を行っている農業者で、次年度以降も収入保険に継続加入する者

【対象内容】

農業者が自ら生産した農産物の販売収入全体（畜産は対象外）

【補助率等】

掛捨て保険料の加入者負担分のうち1/2以内（千円未満切捨て）
※新規加入分及び既加入者のうち保険料増額分については、
県の補助事業対象となり、最大5/6補助となる。

【補助事業】

国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用予定。



事業費	補助額	町の負担
253万円	253万円	0円

元気な地域創出モデル支援

- 中山間地域において、地域の特性を生かした複合経営等多様な農業の推進、複数の農村集落の機能を補完する「農村型地域運営組織」の形成に対する支援を実施します。

【現状と課題、事業の目的】

R3にドライフラワーの製造を実施したが、消費者が求める品種の選定及び本町の気候にあった品種の選定が課題となっている。

⇒本事業を活用し、品種試作展示圃の設置、ドライフラワーの製造試作を実施して花卉農家の所得確保を実現する。

【事業内容】

収益力向上に向けた具体的な取組みを後押しすることで、全国の取組の見本となる優良事例創出を推進する。

【事業費】

国の「中山間地域ルネッサンス推進事業（補助率10/10）」を活用予定。



事業費	補助額	町の負担
500万円	500万円	0円

熊本型放牧高度化支援事業

●放牧条件整備費用や放牧牛導入費用の補助を行います。

【事業の目的】

牧野組合等の団体を事業実施主体とし、熊本県が市町村を通して放牧条件整備費用や放牧牛導入費用の補助を行うもの。

【対策、事業内容】

事業実施主体：牧野組合等

事業対象：隔障物（有刺鉄線・鉄柱・電気牧柵など）、
肥培管理（種子・肥料など）、
放牧施設（簡易給水・スタクションなど）、
簡易草地更新（永年牧草種子など）

【財源】

県の「熊本型放牧高度化支援事業（補助率1/2）」を活用予定。
補助裏は事業実施主体の負担となるため、町負担はゼロ。



事業費	補助額	組合負担	町の負担
492万円	246万円	246万円	0円

間伐材供給安定化緊急対策事業

●間伐の促進と間伐材の流通を促進するため、間伐材流通経費の一部を助成します。

【事業の目的】

早急な間伐を必要とする森林について、間伐材の流通を促進するために、**間伐材流通経費の一部を助成**し、林業経営者の間伐意欲を喚起することにより、適正な森林整備と木材の安定供給を図る。

【事業内容】

①補助対象となる間伐材

A材(構造用製材に利用される通直材)

B材(国産材合板に利用される小曲材)

C材(チップ等の燃料に利用される曲がり材)

②補助対象

素材市場へ出荷したA材、B材(県・町補助それぞれ1,700円/m³)

製材工場等へ直送したA材、B材、C材(県・町補助それぞれ1,200円/m³)

中間土場へ直送したB材、C材(県・町補助それぞれ900円/m³)

【財源】

県の「間伐材供給安定化緊急対策事業(補助率1/2)」を活用予定。



事業費	補助額	町の負担
2,944万円	1,472万円	1,472万円

無電柱化推進計画事業

●高森駅周辺の電柱・電線における無電柱化事業を実施します。

【事業の目的】

- ・高森駅周辺の町道は、町民及び多くの観光客にも利用されているが、路肩に電柱が存在し通行の妨げになるとともに、高森駅からの眺望において、電柱・電線が景観上支障となっている。
- ・下町・昭和1号線、下町・昭和2号線、色見環状線、高校西通線、上在・昭和線、高森駅前線、駅前・下原線の7路線を無電柱化推進計画に位置付け、安全で快適な通行空間と良好な景観を確保し、災害時の防災機能向上を図り、無電柱化事業を実施する。

【事業内容（R4）】

無電柱化詳細設計を実施予定

【財源】

- ①国の「個別補助事業」を活用予定（補助率62.7%）
- ②補助裏には過疎債を借入予定（交付税措置率70%）



【色見環状線】

事業費	補助額	過疎債	交付税措置額	町の実質負担
5,000万円	3,135万円	1,860万円	1,302万円	563万円

高森町橋梁長寿命化対策事業

●高森町が管理する橋梁を対象に長寿命化修繕計画の策定、定期点検、補修・架替設計等を行います。

【事業の目的】

橋梁定期点検の結果把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針を基に、予防的な修繕等の実施を徹底することにより、**修繕、架替に係る事業費の大規模化及び高コスト化を回避し、ライフサイクルコストの縮減を図る。**

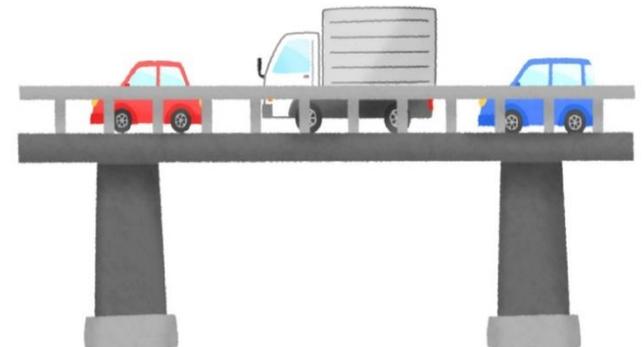
【事業内容】

①修繕計画の策定

R4までに更新が必要であり、R5以降の橋梁事業に補助を受けられるようにする。

②橋梁補修及び架替設計

橋梁定期点検による判定結果がⅢの橋梁は、R5までに事業着手が必要であり、R4は設計（9橋）と補修（1橋）を行う。



【財源】

①国の「個別補助事業」を活用予定（補助率：62.7%）

②補助裏には過疎債及び辺地債を借入予定

（交付税措置率：過疎債70%、辺地債80%）

事業費	補助額	過疎債・辺地債	交付税措置額	町の実質負担
1億850万円	6,782万円	3,230万円	2,434万円	1,634万円

土砂災害危険住宅移転促進事業

- 土砂災害特別警戒区域内にある住宅の移転を促進します。

【事業の目的】

頻発する豪雨等による土砂災害から町民の生命と財産を守るため、**土砂災害特別警戒区域内に居住する方の安全な地域への移転を促進**する。

【補助対象】

土砂災害特別警戒区域内にある建物で、現在お住まいの住宅（賃貸を除く）

【補助内容】

現在お住まいの住宅の除去費等、移転先住宅の建設購入、リフォーム費、移転経費（動産移転費等）、アパート等の賃貸費（1年間）に相当する額の合計（300万円上限）

【備考】

ご自宅やご家族の家が土砂災害特別警戒区域内かどうかは、「高森町防災マップ」や「熊本県土砂災害情報マップ」で確認することができます。



事業費	補助額	町の負担
300万円	300万円	0円

消防車両更新事業

●消防車両を更新します。

【事業の目的】

長年の使用により性能が劣化している消防車両を更新整備し、消防力の基幹である消防車両の活動能力を維持する。

⇒前回の更新から20年以上経過している車両を更新する。

【事業内容】

更新車両（2台）：第4分団1部、第10分団

※R4の更新で『全分団の車両更新』が完了。

【財源】

- ①県の「消防施設整備費補助金（交付上限額50万円）」を活用予定。
- ②補助裏には緊防債を借入予定（交付税措置率70%）



事業費	補助額	緊防債	交付税措置額	町の実質負担
1,560万円	50万円	1,510万円	1,057万円	453万円

集落支援員

●各地域に集落支援員を配置し、集落活性化や通いの場の充実を図ります。

【集落支援員配置予定】10名（R4.4月～）

（内訳）町全体統括2名、高森地区2名、色見地区1名、
上色見地区1名、草部南部地区1名、草部北部地区1名、
津留・野尻地区1名、尾下・河原地区1名

【主な活動内容】

- ①各地域を巡回し、課題の把握・集約
⇒各地域での話し合いやイベントを支援
- ②通いの場での活動支援
⇒百歳体操やボッチャ、体力測定、
買い物支援などをバックアップ
- ③TPCを通じた活動内容報告
⇒年1回活動報告、毎週通いの場の様子を放送、
担当地区の回覧文書で活動内容を報告

【財源】

「集落支援員」に係る経費は特別交付税で措置される。
(1人当たり445万上限)



事業費	交付税措置額	町の実質負担
4,345万円	4,345万円	0円

健康ポイント事業(熊本健康アプリ)

●継続的な健康づくりができる環境づくりを実施します。

【事業の目的】

住民の健康づくり・医療費の適正化（抑制）・健診（検診）受診率アップを目指して、専用アプリを用いて健康づくり活動を「健康ポイント」として「見える化」し、健康活動の習慣化を図る。（熊本連携中枢都市圏連携事業）

【事業内容】

専用アプリのダウンロード後、ウォーキングや健診・健康イベントなどに参加して「健康ポイント」を取得し、たまったポイントで豪華賞品の抽選に応募し、賞品を獲得。

〈取組者のメリット〉

- ・自身の「健康活動」に達成感を得る
- ・気軽に楽しみながら健康管理ができる
- ・健康活動の習慣化により健康な体づくりに取り組む

【事業費】

「連携中枢都市圏」に係る経費は8割が特別交付税で措置される。



事業費	交付税措置額	町の実質負担
38万円	30万円	8万円

消防団年額報酬増額

- 消防団員の処遇改善のため、年額報酬を増額します。

【事業の目的】

年々減少傾向にある消防団員の処遇改善を行い、「団員の士気向上」と「団員数確保」を図る。

【事業内容】

団員報酬を現行の金額より一律増額する。

	現行		増額後
団員	27,000円	→	36,500円
班長	33,000円	→	44,600円
部長	40,000円	→	54,000円
分団長	68,000円	→	91,800円
副団長	89,000円	→	120,200円
団長	128,000円	→	172,800円



事業費	補助額	町の負担
1,137万円	0円	1,137万円

役場北側防災駐車場新設工事事業

- 役場北側の駐車場を車中泊等にも対応した「防災駐車場」として整備します。

【事業の目的】

近年、頻発している各種災害や大規模災害等の発生を想定し、役場の北側駐車場を緊急避難場所、また車中泊等にも対応した「防災駐車場（防災拠点）」として整備する。

（メリット）

- ・ 役場庁舎に隣接していることで、住民方が安心・安全に避難することができる。
- ・ 避難されている方へのスピード感を持ったサービスの提供が可能となる。

【事業内容】

- ① 現在、砂利敷になっている駐車場の整備
 - ② 高森総合センター前の駐車場との段差解消（フラット化）
 - ③ 街路灯の整備
- ※ 次年度以降、備蓄倉庫や車庫の建設を予定。

【財源】

緊急防災・減災債を借入れ予定。（交付税措置率70%）



事業費	緊防債	交付税措置額	町の実質負担
1億235万円	1億230万円	7,161万円	3,074万円

尾下地区ヘリポート舗装整備事業

- 旧尾下小学校跡地のヘリポート着地面を整備します。

【事業の目的】

ドクターヘリ等のヘリポートとして指定されている旧尾下小学校跡地は、着地面が土のため雑草やイノシシ被害で凹凸が発生し、着陸に支障をきたしている。

⇒恒久的に安全なヘリポートを整備するため
コンクリート舗装を行う。

【事業内容】

旧尾下小学校跡地の着地面に14m×14mのコンクリート舗装
＋隣接道路から着地面までの緊急車両用通路として
延長75mの鉄鋼スラグ舗装も行う。

【財源】

緊急防災・減災債を借入れ予定。（交付税措置率70%）



事業費	緊防債	交付税措置額	町の実質負担
214万円	210万円	147万円	67万円

南阿蘇鉄道高森駅周辺整備に伴う設備改良工事補助金

●南阿蘇鉄道高森駅周辺再開発整備事業に伴う設備改良工事に係る経費を補助します。

【事業の目的】

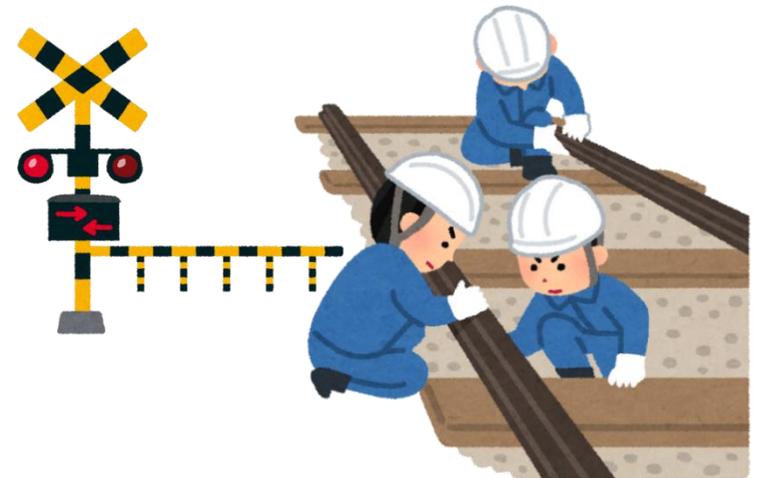
「南阿蘇鉄道沿線地域公共交通網形成計画」に基づく、本町の施策として、南阿蘇鉄道の始発・終発点である高森駅を『定住』『観光』『防災』によるまちづくりの最重要拠点施設として再整備する『南阿蘇鉄道高森駅周辺再開発事業』実施に伴い、列車停車位置の変更が生じる為、新たな鉄道信号設備及びプラットフォームを整備する必要があり、本年度は鉄道施設改良工事を実施する。

【事業内容】

鉄道通信設備等改良工事
鉄道施設プラットフォーム改良工事
※発注は、南阿蘇鉄道株式会社

【その他】

全線復旧に合わせる為には、年度当初より本工事（電気通信・プラットフォーム）を進める必要がある。



事業費	基金繰入額	町の負担
2,720万円	2,720万円	0円

鉄道経営対策補助金

- 老朽化した車両や線路マクラギ等の更新に係る経費を補助します。

【事業の目的】

南阿蘇鉄道の安心安全な運行を実施するため、老朽化した車両や線路マクラギ等を更新します。

【事業内容】

- ・マクラギ更新 49,155,000円
- ・踏切設備更新 3,300,000円
- ・無線設備更新 1,650,000円
- ・車両関係費用 469,291,000円
- ・車庫改修関係 31,000,000円

上記経費を、

国（約1/3）・県（約1/3）・

自治体（南阿蘇村・高森町（約1/6ずつ））で負担する。

（総事業費：5億5,440万円）



事業費	基金繰入額	町の負担
9,849万円	9,849万円	0円

南阿蘇鉄道接続強化経費負担金

- 南阿蘇鉄道のJR豊肥本線肥後大津駅への乗入れを目指します。

【事業の目的】

南阿蘇鉄道創造的復興を達成するべく、南阿蘇地域と熊本都市圏のアクセス利便性向上や南阿蘇地域への観光客誘致を目的に南阿蘇鉄道のJR豊肥本線肥後大津駅への乗入れを目指す。

【事業内容】

乗入れ実施に係る線路や信号設備等の工事費を
国 (1/3)、県 (1/3)、自治体 (南阿蘇村・高森町 (1/6ずつ))
で負担する。(総事業費：395,900,000円)

- 「南阿蘇鉄道沿線地域公共交通網形成計画」記載事項
(基本方針3) 将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な
公共交通網の構築
 - 各公共交通機関の連携の強化
 - ・南阿蘇鉄道とJR豊肥本線との接続強化の検討
(ダイヤの調整、立野駅での対面乗換、
南阿蘇鉄道の豊肥本線乗入、豊肥本線の電化等)



事業費	基金繰入額※	町の負担
8,085万円	8,085万円	0円

予算書P57

※南鉄復興応援基金のほか、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」も活用予定。

南阿蘇鉄道再構築事業新法人負担金

- 南阿蘇鉄道経営再構築に伴い、鉄道施設や用地を保有する一般社団法人を設立します。

【事業の目的】

熊本地震からの復興と将来にわたる長期的な経営を実施するために、鉄道施設や用地を保有する（一社）南阿蘇鉄道管理機構（仮称）を熊本県、南阿蘇村、高森町の3者で設立する。

【事業内容】

- R4 法人設立、鉄道事業再構築実施計画承認及び第3種鉄道事業の取得
- R5～ 南阿蘇鉄道(株)から施設及び用地の移管、鉄道関連施設及び用地の管理

【その他】

新団体設立に係る経費は、熊本県、南阿蘇村、高森町で折半。



事業費	基金繰入額	町の負担
115万円	115万円	0円

高森町森林環境譲与税活用事業

●森林環境譲与税を活用し、木材の利用、山村振興、担い手の確保に取り組めます。

【事業の目的】

森林環境譲与税を活用し、高森町の林業振興の推進を図る。

【事業内容】

○R4森林環境譲与充当分

事業名	R4年度 予算額
高森町森林集約化業務委託料	6,000
林地台帳情報更新委託料	2,354
林道阿蘇東部線除草作業業務委託	616
林地台帳タブレット保守料	225
林地台帳ソフト使用料	229
林道化粧田線舗装原材料費	916
阿蘇地域林業担い手対策協議会負担金	1,162
高森町森の魅力向上事業	18,700
会計年度報酬	1,570
会計年度期末手当	314
会計年度共済費	318
会計年度費用弁償	51
合 計	32,455

○R3までの基金充当分

事業名	R4年度 予算額
林道阿蘇東部線舗装補修	1,253
林道越敷線横断暗渠修繕	245
林道阿蘇東部線景観向上対策業務委託	5,000
林道鍋の平線道路舗装整備測量設計業務委託	8,367
林道鍋の平線道路舗装整備工事	14,000
阿蘇南郷檜ブランド化推進協議会負担金	1,340
林地台帳タブレットリース料	382
合 計	30,587

R4森林環境譲与税活用分 32,455,000円
 R3までの森林環境譲与税基金からの繰入分
 30,587,000円

林道鍋の平線道路舗装整備事業

●森林環境譲与税を活用し、林道鍋の平線(350m)の舗装整備を行います。

【現状と課題、事業の目的】

- ・林道鍋の平線は町道西原・日ノ尾峠線につながるS46に開設された林道である。
- ・林道の先は阿蘇市に続いており、災害時には迂回路の機能を有する防災道路でもあり、近年、西原・日ノ尾峠線の開通及びコロナ禍でのキャンプブームにより林道沿線にある鍋の平キャンプ場に多くの観光客が訪れる観光道路も兼ね備えている。
- ・H4に舗装整備されているものの、整備後約30年が経過し、クラック、路面に段差等が発生しており、通行に支障を来たすとともに道路での事故等が懸念される。

【対策、事業内容】

林道鍋の平線の起点から鍋の平キャンプ場までの
区間約350mの舗装整備

【財源】

森林環境譲与税を活用予定



事業費	森林環境譲与税	町の負担
2,237万円	2,237万円	0円

高森町森の魅力向上事業

●これまで国庫補助対象外となっていた間伐、枝打ち、鳥獣害対策に係る経費を助成します。

【事業の目的】

国庫補助対象外の部分を助成することで高森町の森林、木材の価値、山主の意欲、山林への関心を高め、魅力の向上を図る。

【事業内容】

①間伐促進

1施業地の上限350,000円とし、材積による標準単価の68%を助成する。

②枝打ち

枝打ち開始高1.5m以下で到達点は2.5mとし、68%を助成する。

③鳥獣害対策

森林内での鳥獣害対策経費の1/2を助成する。

④作業道補修

補修に係る経費の2/3を助成する。

【財源】

森林環境譲与税を活用予定



事業費	森林環境譲与税	町の負担
1,870万円	1,870万円	0円

追手風部屋公認小学生相撲大会

- 小学生相撲大会を開催し国技相撲の発展と高森町への交流人口の拡大を図ります。

【事業の目的】

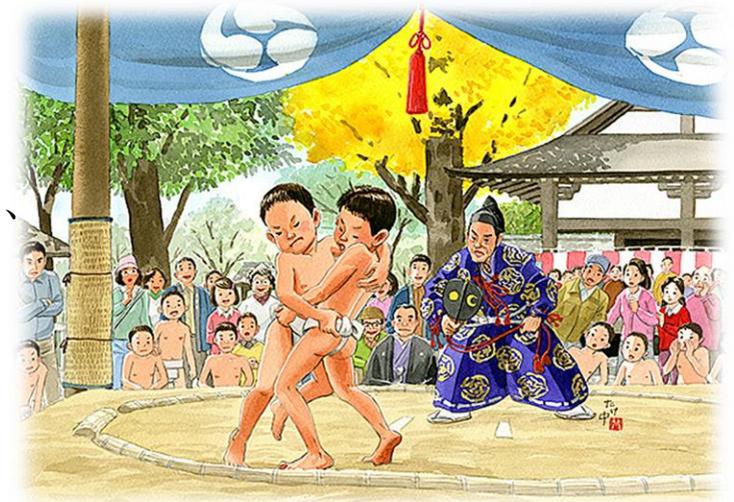
2023年南阿蘇鉄道の全線復旧を見据え、沿線地域の活性化を目的に、熊本県相撲連盟の協力を受け、追手風部屋公認の大会を誘致し国技「相撲」を通じた高森町への交流人口を拡大する。

【事業内容】

人気関取が多く所属する「追手風部屋」公認を冠とした小学生相撲大会を開催
⇒相撲競技を通じて、沿線地域の子供達と県内外の子ども達との交流を促し、南阿蘇鉄道の全線復旧の機運を高め、「相撲」の普及発展に貢献する。

【事業費】

復興基金（創意工夫分）を繰入予定



事業費	基金繰入額	町の負担
100万円	100万円	0円

KABと連携した情報活用教育充実事業

●KABと連携して、町内学校の授業において番組制作や映像アーカイブの利活用を図ります。

【事業の目的】

当町が全国に先駆けて取り組んできたICTを活用した教育をより充実させるため、高森町立小・中・義務教育学校の授業において、KAB（在熊民間放送局）の持つ映像アーカイブや番組制作ノウハウを活用し、より実践的な情報活用教育を実施する。

【事業内容】

- ①KABの持つ映像を授業で活用できるようにアーカイブ化
- ②番組作りのプロを授業に招へいし、より実践的な情報活用能力を育成。

【財源】

「企業版ふるさと応援寄附金」として公募し、寄附があった分を活用予定。



事業費	企業版ふるさと応援寄附金	町の負担
50万円	50万円	0円